

2007年
5月11日

実行委員長の決心?!

さかもと いくみ(実長、高3)さんへのインタビュー

① 体育祭ではなくなぜ「自森ニック」と名前を変えたの?

毎年『テーマ』を決めていたけれど。あんまり活用されていないと思ったの。だったらいっそのこと『体育祭』っていう名前をとっぴらっちゃって新しい名前にできたら、それが今年の色になるし、自森全員の中にはいっていきやすくなって思った!! それからねらい!! これから会話の中でも『自森ニック』で☆

② 「自森ニック」の実長のイメージは?

それぞれのクラスやチームが『勝利』にむかっていっしょうけんめいがんばる!! って感じ。みんなで作戦考えたり、いっぱいいっぱい練習したり。自森生全員で熱くなるうー!!!

③ 中1へ「自森ニック」をこう楽しんだらというヒントを、どうぞ。



まずは学年種目で『優勝』を目指せ!! クラスで作戦ねったり、いっぱい練習して、クラスのみならず楽しみながらね☆ 次は色別のチームで『優勝』を目指せ!! 学年種目以外にも楽しい競技があるんだよ。それに出場すると楽しいよーひたすら応援するのもいいかもね!!あとは係にはいることだな♪ 他の学年に友達ができるチャンス!! はじめはドキドキかも知れないけど、高校生も中学生と友達になりたがっているから大歓迎だよ!



取材：だいご(中3) photo:こむろ(高3)

スポーツの本 & コミック紹介

一瞬の風になれ

佐藤多佳子 講談社



主人公・新二の周りには、2人の天才がいる。

サッカー選手の兄・健一と、短距離走者の親友・連だ。新二は兄への複雑な想いからサッカーを諦めるが、連の美しい走りに導かれ、スプリンターの道を歩むことになる。夢は、ひとつ。どこまでも速くなること。信じ合える仲間、強力なライバル、気になる異性。神奈川県の高陵陸上部を舞台に、新二の新たな挑戦が始まった――。

こんな感じです。本屋大賞もとった作品です。

『バッテリー』（あさのあつこ）『DIVE!』（森絵都）と並び賞されている作品だそうです。

僕はまだ1巻までしか読み終えていないのですが結構面白いです。けれど、前に読んだ『DIVE!』のほうが好きだなあと思いました。

だいち

スラムダンク

井上雅彦 集英社



コミック。主人公、【桜木 花道(さくらぎはなみち)】。赤い髪をしたやつ。

始めは手がつけられない不良だったけど、

バスケットに出会い少しずつ変わっていく。

部員とぶつかりながらも全国制覇を目指し頑張っていく。

とくに【流川(るかわ)】というバスケがめちゃくちゃうまいやつにライバル心を燃やしている。

途中でトラブルもたくさんあるけどそれも面白い◎

この漫画は面白くてすごい笑える! w

何回も挫折しそうになりながらも周りに助けられながら立ち直っていく姿がいい!! とにかく読んでみてほしい。

ゆうた(中3)

菜の花畑でお花見！



5月9日、菜の花畑でお花見&ライブがありました。やっぱり花よりだんごって感じだったなあ。暑かったです……

ミッキーのギター&ハーモニカを両立させたのは凄かったです。

早川くん(高3)

もギターをひいていました。

だいち (photo も)

いま、モルゲン(校長)に聞く!

Q 自森は、なぜ4月26日の全国学力一斉テストに参加しなかったのですか？

A 簡単に言うと、人間の能力というのはテストだけでは測れません。

テストで測ることが出来るのはその人のほんの一部だけだからです。人間の想像力や協調性、総合的に理解する力などは、人間の多角的な能力を必要としています。テストをすることを、否定はしません。

テストによってその授業の何が理解できていて、何が出来ていないかが良くわかるからです。テストは教師が生徒にきちんと授業で何を教えられたか、を確かめるものです。そうするとテストで順位を測り、競わせるのは、教師がきちんと教えていないのを示すものです。

フィンランドではテストがありませんが、生徒全員が授業の内容を理解できる工夫をととてもよくしています。そして世界一の教育水準を保っています。

このように教育の現場で同じテストをやる、という意味は、その小さな物差しで測られる怖さがあります。

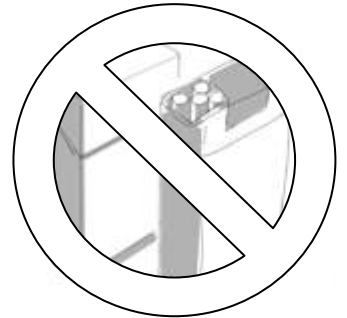
取材：ななみ(中3)

タバコ喫煙問題*小特集-5/7全校集会に参加して一

友達だからこそ言うべき

正直、書いてほしいのは全校集会で言った事なんだよね。
真っ直ぐに思った事を話したから。
友達関係とか、正直関係あるのかな?自分は違うと思う。
友達だからこそ言うべきだと思う。
友達だから言わなきゃいけないんじゃないかな?
タバコ1本で友情って崩れちゃうのかな? っと思う。
多分そんな事ないと思うんだよね。
友達への一言が、凄く大事なんだと思う。
友達が言わないと、吸ってる人は気付かないと思う。
と言うより、まず、20じゃないのにタバコ吸うのは良くないし。
だから、周りが言ってあげるのが、たとえ押しつけであっても、言うべきだと思う。

楓子(中3)



どうすればいいのかなあ

タバコは自由の森学園が今まで積み残してきた大きな問題だ、とよく聞きます。けれど僕の周りには、タバコを吸っている人はいないのでそれほど実感が湧きません。

今回のタバコ問題のための全校集会では、中学生のほうが一掃と割り切っていたなあと感じます。「たばこはだめだ!」とはっきりとっていました。やっぱりしがらみの無い中学生だからこそ、の意見なのかなあ。

それに比べて高校生は、とても相手を気遣っている感じがしました。高校生にとっては身近だからこそ、配慮が必要で、だから切り捨てるような鋭い意見はでない、そんな気がします。

僕は、タバコはだめだろう、とは思いますが。
けれどではどうするか?と聞かれるととても困ります。
強制的にやめさせるのは意味が無いし、それは違うと思います。

それに、自分がやめさせられる側だったら反感を持つだけだと思います。
けれど、放置するのは駄目だし、結局は堂々巡りで今までどおり・・・

本当に難しい問題だと思います。いったいどうすれば良いのだろう。 だいち(中3)

たばこに僕は反対だ

たばこに僕は反対だ。

なぜなら前に歴史の漫画で読んだのだが中国はイギリスが売ったアヘンという麻薬の一種によって国民がアヘン中毒になり、たくさんの人が亡くなったのだ。中国は怒り、イギリスと戦争をして負けて滅んだ。

中国はアヘンで滅んだ。しかし、自森はたばこという問題で滅んではいけないと思う。タバコは吸うひとにも害があるが、吸っていない周りの人にも害だ。

またこの前の集会で自森以外のところで生徒がたばこを吸い、クレームが来たという話があったが、そのことで自森が批判されて、自森がなくなったら自分で自分の首をしめる結果になってしまう。

タバコで自森がつぶれないように周りの人にも、そして自分の健康のためにもタバコはやめて欲しい。

ジューグラー(中2)

✳

にらむ? こらむ? 日本の教科書問題

2007年4月17日の朝日新聞の朝刊に、ノーベル賞作家大江健三郎さんが「なぜ主語が隠されたのか?」という文章を寄稿しています。それは沖縄の集団自決の問題についてでした。

まとめると、第二次世界大戦時、沖縄において日本軍による集団自決の強制はなかった、もしくは疑わしいので教科書からその記述をのぞく、というものです。

例えば具体例を挙げていくと・・・

- ・ 《「集団自決」におこまれたり、日本軍がスパイ容疑で虐殺した一般住民もあった。》(東京書籍)
- ・ 《追いつめられて「集団自決」した人や……》(三省堂)
- ・ 《県民が日本軍の戦闘の妨げになるなどで集団自決に追いやられたり、日本軍により幼児を殺されたり、スパイ容疑などの理由で殺害されたりする事件が多発した。》(実教出版)
- ・ 《なかには集団自決に追い込まれた人々もいた。》(清水書院)

けれど日本軍は集団自決の命令をしています。その命令が撤回された、ということはありません。なので、日本軍は集団自決の強制をしていたとするのが当然だと思います。

だいち

サビア公演



4月15日に飯能駅前のサビアで飯能日高子ども劇場のマンスリーライブがあった。そこで郷土芸能部・民族舞踊部・中国舞踊部が公演をしました。

中学生も活躍しました。

神着太鼓や七頭舞などをやりました。

しげ(中2) photo: 佐藤氏

編

集

メンバーの すきなスポーツ

しげ～キックベース げんき～バスケット なつみ～?

むい～サーフィン ゆうた～サッカー よしあき～野球

だいち～チェス! だいが～陸上競技

しんた～? しょうたろう～?

ななみ～空手?

*

2007. 5. 11

編集: 中学生図書委員会

発行: 自由の森学園 図書館 (大江)

e-mail jib0@jyuunomori.ac.jp Tel 042-972-3021